

宮城県初の快挙！ ナショナルデモンストレーター誕生！！

3月14日15日に、長野県の八方尾根スキー場で、(財)全日本スキー連盟のナショナルデモンストレーター（以下、デモンストレーターと略）選考会が開催され、七ヶ宿スキークラブの渡部秀文さん（瀬見原）が見事、デモンストレーターに認定されました。

デモンストレーターとは、「スキー技術の研究および指導技術の普及に携わり、広く一般大衆との接点において、スキースポーツの普及を行なう」とされる存在でスキー指導者として最高の荣誉です。

宮城県としては初めてのデモンストレーター認定で、今回の選考会で男子25名、女子10名が認定されました。今後、任期である2年間、日本のスキー界の先導役としての活躍が期待されます。

渡部さんに今のお気持ちや今後の抱負を聞いてみました。



認定書を手にする渡部さん

Q1 デモンストレーターに認定された、今のお気持ちはどうですか

正直、初めは本当に僕が選ばれていいのかなって感じでした。しかし認定していただいたからには、「やってやる」という気持ちになりました。

Q2 渡部さんにとってデモンストレーターという存在は

昔から憧れていたスキーヤー像です。デモンストレーターになるのが小学生からの夢でした。

Q3 スキーの指導をするに当たって、心がけていることはなんですか

スキーは楽しく！！です。

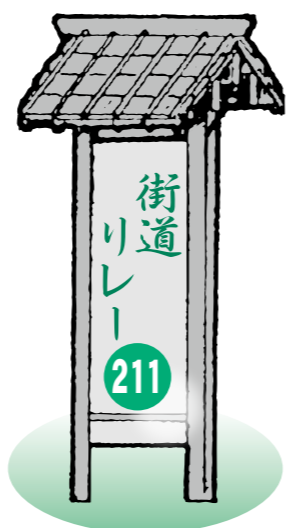
Q4 デモンストレーターとしての抱負をお聞かせ下さい

スキーの楽しさを皆さんにお伝えできるように、そして子供たちに夢を与えられるように頑張っていきます！

Q5 では最後に、渡部さんは子どもの頃からの夢を実現したわけですが、七ヶ宿の子ども達にメッセージをお願いします。

みんなそれぞれいろんな夢を持っていると思いますが、実際、夢を追うってことは辛く、苦しく、途中で投げ出したくなる時もあります。でも必ず自分を応援してくださる周りの方々が支えてくれるはず。夢は自分一人では実現できないものだと思います。家族や周りの方の支え、応援があっはじめて実現できるものです。ですから、皆さんへの感謝の気持ちを忘れずに頑張ってください。

ありがとうございました。



警察人生最後の湯原駐在所での勤務

湯原
白石警察署湯原駐在所

佐々木信夫

さん



平成18年4月1日赴任して平成22年3月31日をもって定年退職となり、仙台市青葉区愛子東の自宅に戻ります。

最後の警察人生四年間を湯原駐在所で、勤務する事を自ら希望して来て仕事をしました。公私共々湯原管内の地域の皆さんは勿論、七ヶ宿町の皆さんからも夫婦共々温かく接していただき感謝の気持ちでいっぱいです。

白石警察署勤務が発令され、その後湯原駐在所勤務が決まった時に、他の先輩同僚、後輩から「本当に湯原に行くの」と驚きの話になり、「あそこは雪が半端じゃない豪雪地帯だよ」と

の言葉でしたが、私は以前に二井宿トンネルを工事している時期に、仙台中央署のレクリエーションで南陽市でブドウ狩りをして帰る途中に、湯原を通ったことがありました。その時に昔の風情を感じ、同僚に「警察人生の最後はここで勤務したいな」とつぶやいたことが、念願が叶って、湯原で勤務出来たことは大変うれい事でした。

七ヶ宿町は水が旨く、空気も綺麗、特に春先の緑が大変濃いし、その後水芭蕉群生地での水芭蕉も綺麗、夏のわらじで歩こう七ヶ宿の頃から蕎麦の花が咲き始め秋の紅葉も綺麗、冬の雪景色も綺麗で四季の自然豊

かな、歴史ある大変美しい町です。特に湯原の皆さんは、団結力があり、町民運動会では、四個の優勝杯に輝いたことがありました。この四年間はあっという間に過ぎてしまい、大変短く感じました。

今回は佐々木所長と一緒に湯原宿防犯パトロール隊を創設し、自ら隊長を務める「高橋一登さん」（湯原）にリレーされます。

お疲れ様でした。奥様も七ヶ宿レクダンスクラブに入るなど地域活動にご参加いただきました。ありがとうございました。

公の施設の使用等から暴力団を排除 白石警察署と協定

2月23日蔵王町役場において、暴力団の利益となる公の施設の使用等の制限に関する公の協定を、白石警察署と白石市・蔵王町・七ヶ宿町の1市2町合同で実施しました。今月から開発センター・活性化センター・各地区分館・町民グラウンド・水と歴史の館で暴力団の利益となるような利用を制限いたします。



▲警察署長（右から2人目）と3首長ががっちりタッグ